



2020年2月26日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 テ ラ プ ロ ー ブ
代 表 者 代 表 執 行 役 社 長 浦 崎 直 彦
(コード番号：6627 東証マザーズ)
問 合 せ 先 Vice President 地 主 尚 和
(TEL 045-476-5711)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時：2020年2月25日 17：15～17：45

開催方法：対面による実開催

開催場所：日本証券アナリスト協会 第3セミナールーム
(住所：東京都中央区日本橋兜町3-3 兜町平和ビル3階)

説明会資料名：株式会社テラプローブ 決算説明資料 2019年12月期

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

以 上

株式会社テラプローブ 決算説明資料

2019年12月期

2019年12月期 業績説明

本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、
比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、
原則として「-」と表示しています。

2019年12月期 業績サマリー

	CY2019	CY2019	QoQ		CY2018	CY2019	YoY	
億円	3Q	4Q	増減	%	累計	累計	増減	%
売上高	43.8	46.5	2.8	6%	217.4	169.1	△ 48.3	△22%
営業損益	1.8	3.9	2.1	121%	16.7	△ 1.1	△ 17.8	-
%	4.0%	8.3%	4.3pt	-	7.7%	△ 0.7%	△8.3pt	-
経常損益	1.0	3.0	2.0	204%	15.4	△ 3.9	△ 19.3	-
%	2.2%	6.4%	4.1pt	-	7.1%	△ 2.3%	△9.4pt	-
特別利益	0.8	1.3	0.5	67%	27.0	8.0	△ 18.9	△70%
特別損失	△ 0.1	0.7	0.8	-	14.3	3.4	△ 10.8	△76%
税金等調整前純損益	1.8	3.6	1.7	96%	28.1	0.7	△ 27.4	△98%
親会社株主に帰属する 四半期純損益	0.7	1.5	0.8	127%	10.4	△ 2.4	△ 12.8	-
US\$	107.58	108.18			111.76	109.29		
NT\$	3.52	3.53			3.67	3.53		

○ 売上高： QoQ 2.8億円増 （Logicの緩やかな持ち直し継続）

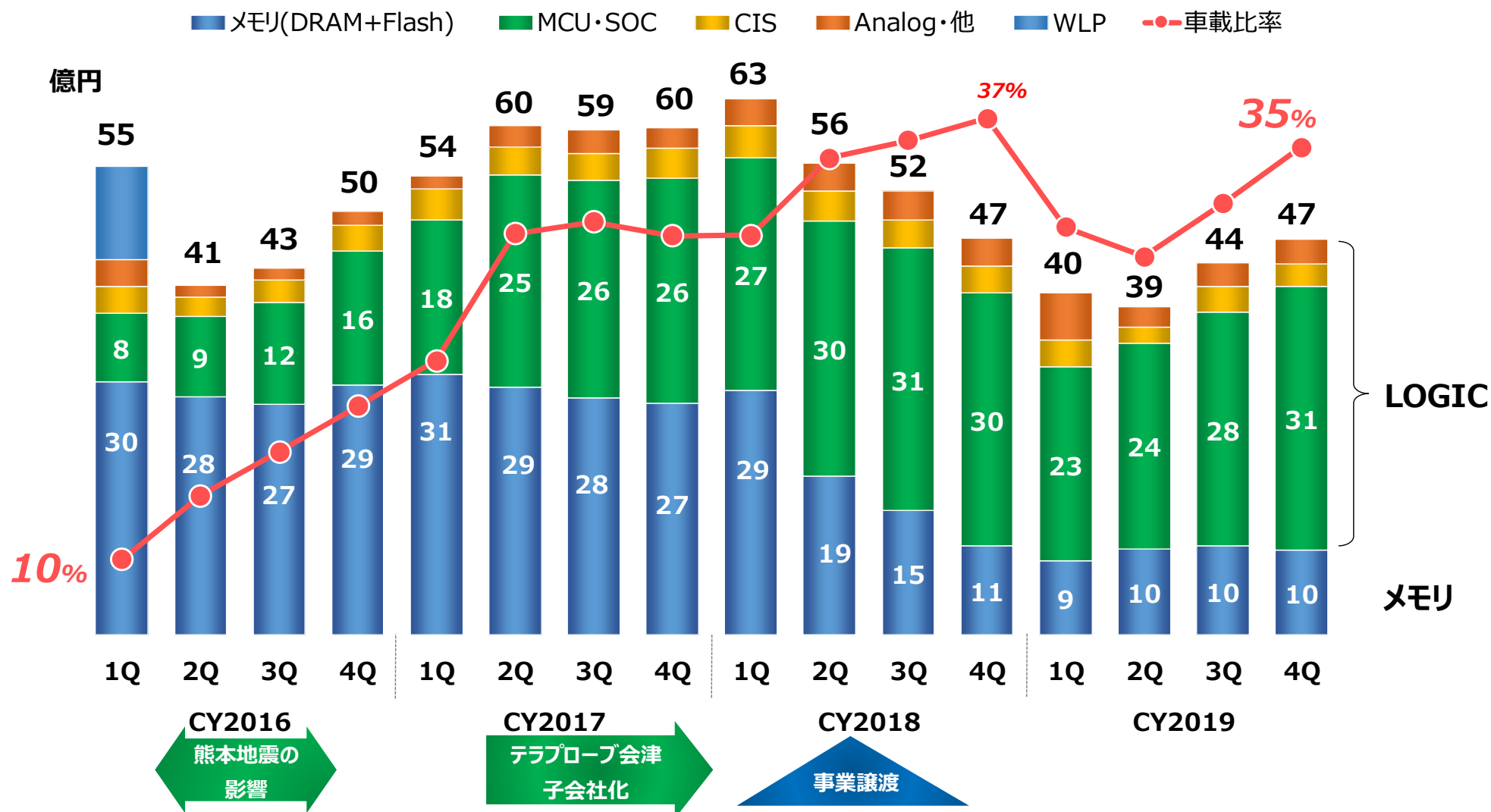
○ 営業損益、経常損益、純損益とも QoQ 増益

2019年12月期 業績サマリー

	CY2019	CY2019	QoQ		CY2018	CY2019	YoY	
億円	3Q	4Q	増減	%	累計	累計	増減	%
売上高	43.8	46.5	2.8	6%	217.4	169.1	△ 48.3	△22%
営業損益	1.8	3.9	2.1	121%	16.7	△ 1.1	△ 17.8	-
%	4.0%	8.3%	4.3pt	-	7.7%	△ 0.7%	△8.3pt	-
経常損益	1.0	3.0	2.0	204%	15.4	△ 3.9	△ 19.3	-
%	2.2%	6.4%	4.1pt	-	7.1%	△ 2.3%	△9.4pt	-
特別利益	0.8	1.3	0.5	67%	27.0	8.0	△ 18.9	△70%
特別損失	△ 0.1	0.7	0.8	-	14.3	3.4	△ 10.8	△76%
税金等調整前純損益	1.8	3.6	1.7	96%	28.1	0.7	△ 27.4	△98%
親会社株主に帰属する 四半期純損益	0.7	1.5	0.8	127%	10.4	△ 2.4	△ 12.8	-
US\$	107.58	108.18			111.76	109.29		
NT\$	3.52	3.53			3.67	3.53		

- 売上高： YoY 48.3億円減（事業譲渡やDRAM需要低迷、車載向けLogic生産調整などの影響）
- 営業損益、経常損益、純損益とも減益（事業所統合や効率化による費用減少も売上減少を補うには至らず）

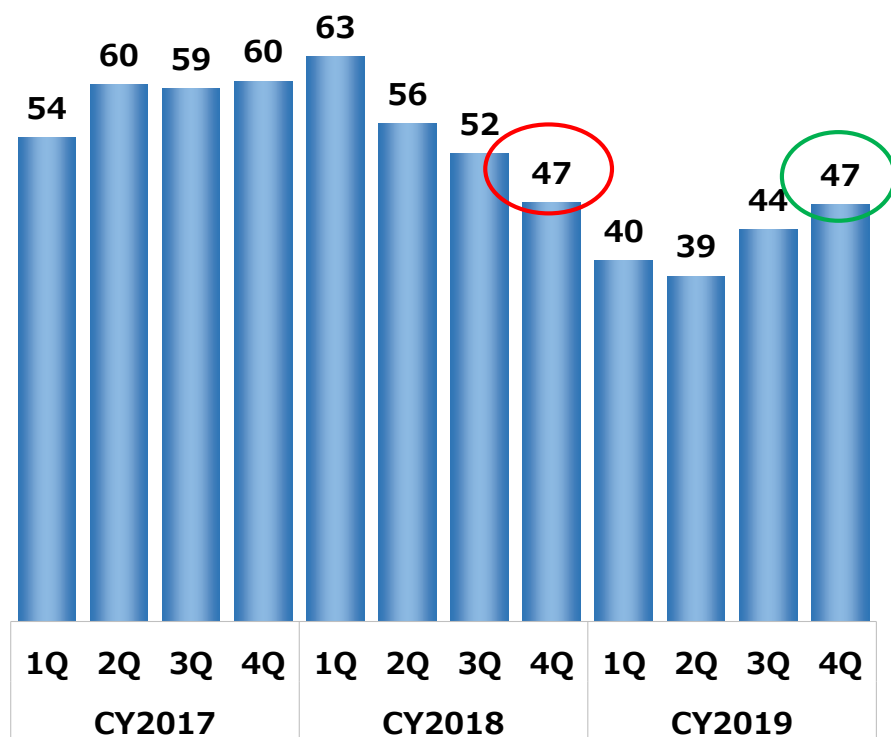
連結売上高推移（製品別）



連結売上高・営業利益の推移

売上高

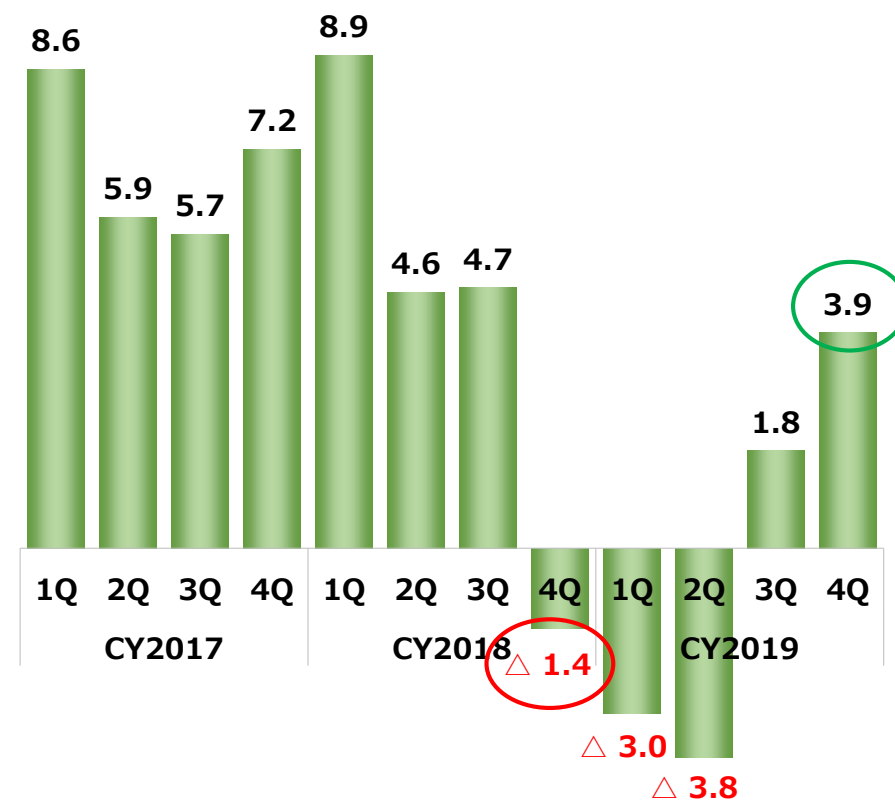
億円



	2018/4Q	2019/4Q	削減
製造原価	43 億円	38 億円	△5 億円
販管費	5.1 億円	4.4 億円	△0.6 億円

営業利益

億円



2019年12月期 キャッシュフロー 財政状態

キャッシュフロー

	億円	CY2019 7~9月	CY2019 10~12月	QoQ			CY2018	CY2019	YoY	
				増減	%				増減	%
営業CF		11	24	13	122%		85	59	△ 27	△31%
投資CF		△ 23	3	26	-		△ 137	△ 48	90	-
FCF		△ 12	27	40	-		△ 52	11	63	-
財務CF		△ 10	△ 3	8	-		71	△ 32	△ 103	-

主要B/S項目

	億円	CY2019 9月	CY2019 12月	QoQ			CY2018 12月	CY2019 12月	YoY	
				増減	%				増減	%
現預金		98	108	10	11%		143	108	△ 35	△24%
有形固定資産		375	387	12	3%		415	387	△ 28	△7%
総資産		542	569	27	5%		628	569	△ 59	△9%
有利子負債*		215	221	6	3%		244	221	△ 22	△9%
純資産		292	303	10	4%		309	303	△ 7	△2%

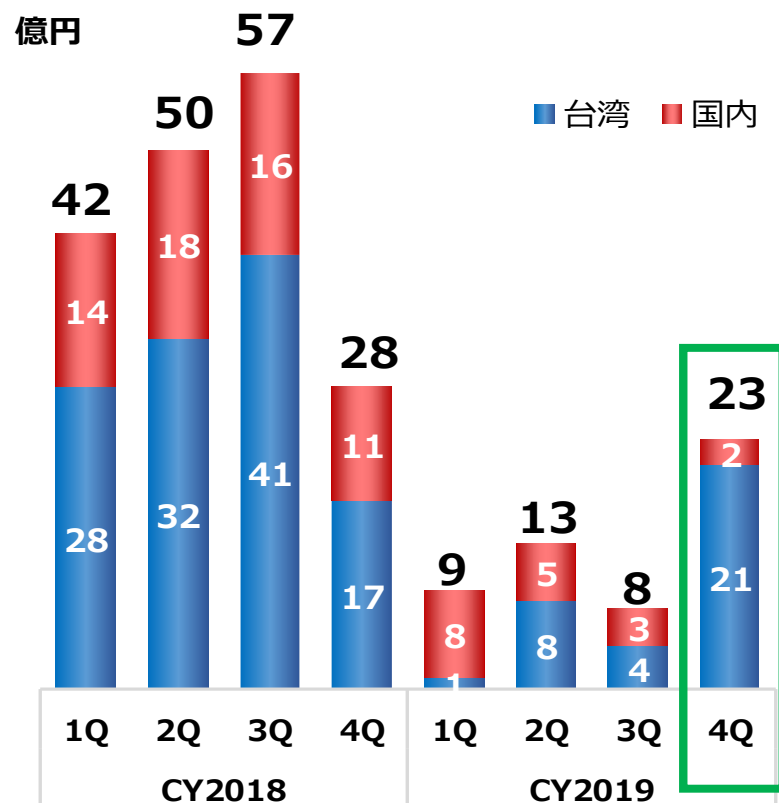
*有利子負債 = 借入金 + リース債務

設備投資及び減価償却

設備投資

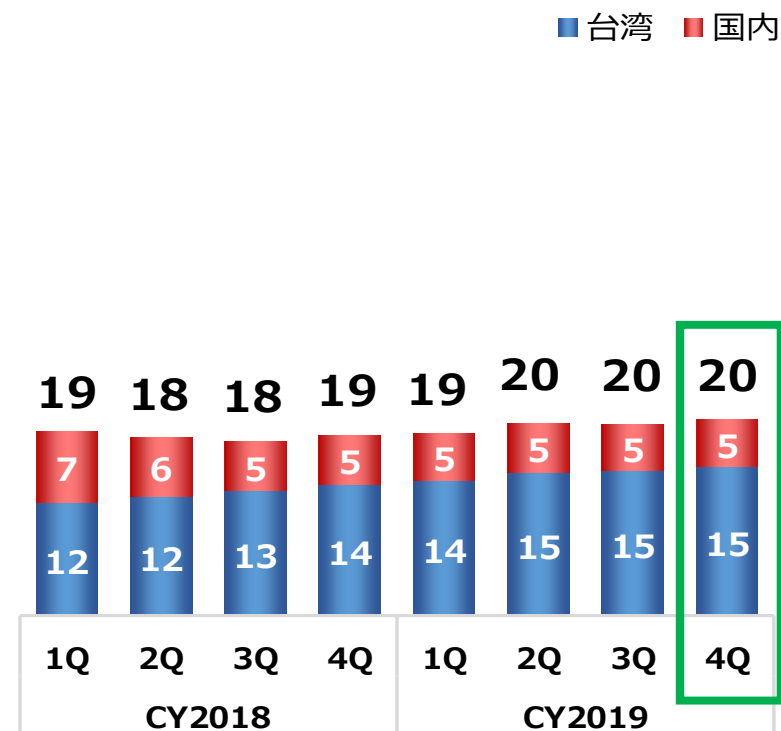
2019年実績 53億円

(YoY △123億円)



減価償却

億円



2020年12月期 第1四半期

業績予想

本資料では、増減率について、1,000%を超える場合や、
比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合、
原則として「-」と表示しています。

2020年12月期 第1四半期 業績予想

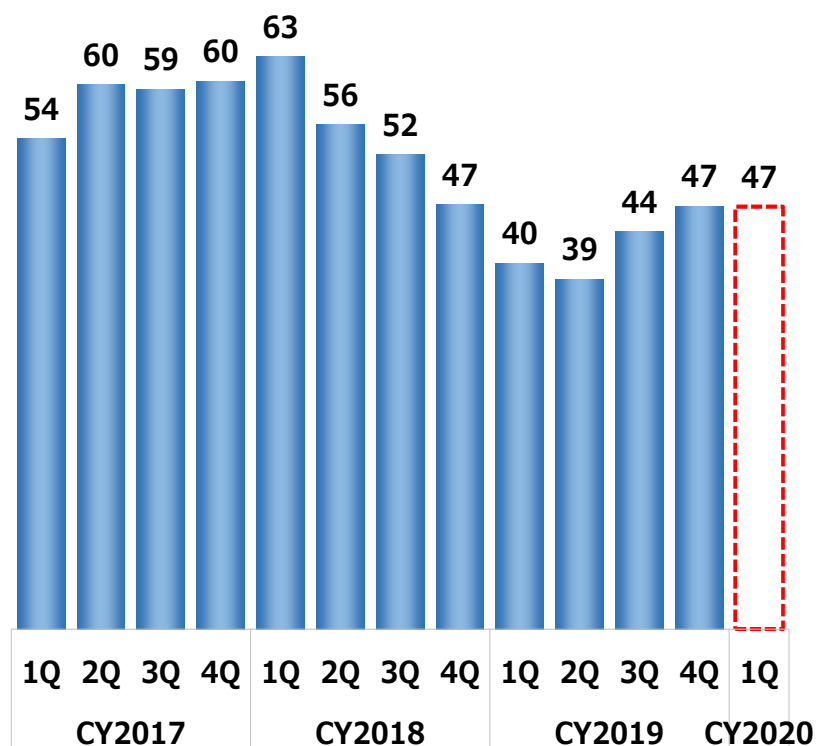
	CY2019	CY2020	QoQ		CY2019	CY2020	YoY	
億円	4Q	1Q	増減	%	1Q	1Q	増減	%
売上高	46.5	46.5	△ 0.0	△0%	40.3	46.5	6.2	16%
営業損益	3.9	2.5	△ 1.4	△35%	△ 3.0	2.5	5.5	-
%	8.3%	5.4%	△2.9pt	-	△ 7.4%	5.4%	12.8pt	-
経常損益	3.0	2.0	△ 1.0	△32%	△ 3.6	2.0	5.6	-
%	6.4%	4.3%	△2.1pt	-	△ 8.9%	4.3%	13.2pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純損益	1.5	0.4	△ 1.1	△73%	△ 0.5	0.4	0.9	-

- 売上高：車載Logicの受託は堅調、DRAMや画像処理用Logicの受託減少 → QoQ 横ばい
- 営業損益、経常損益：需要増加に備えた先行投資等の影響 → QoQで減少

売上高・営業利益の推移

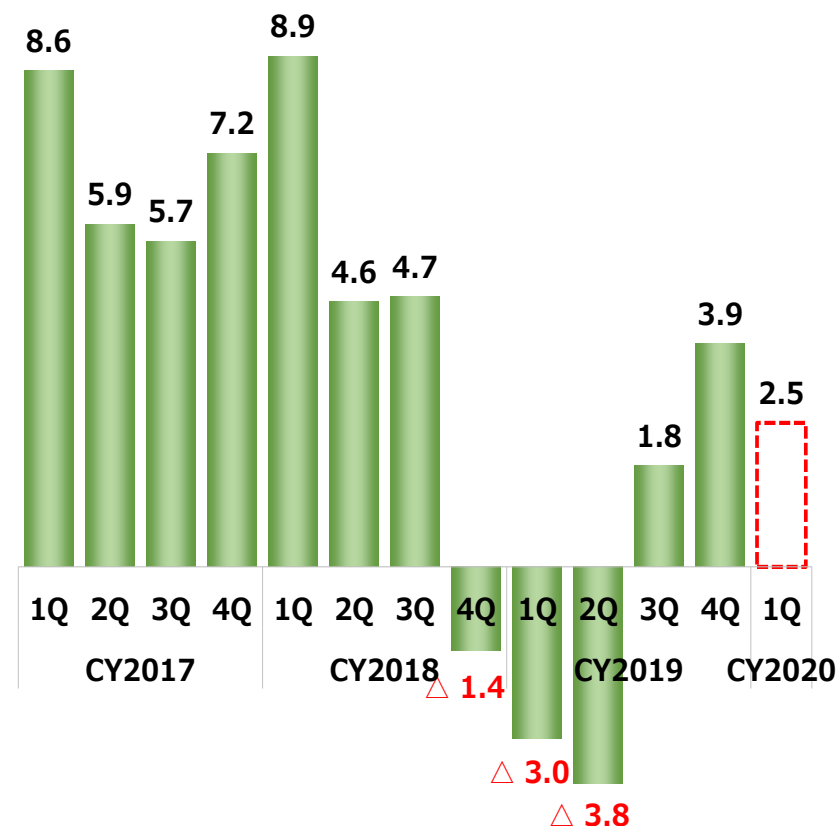
売上高

億円



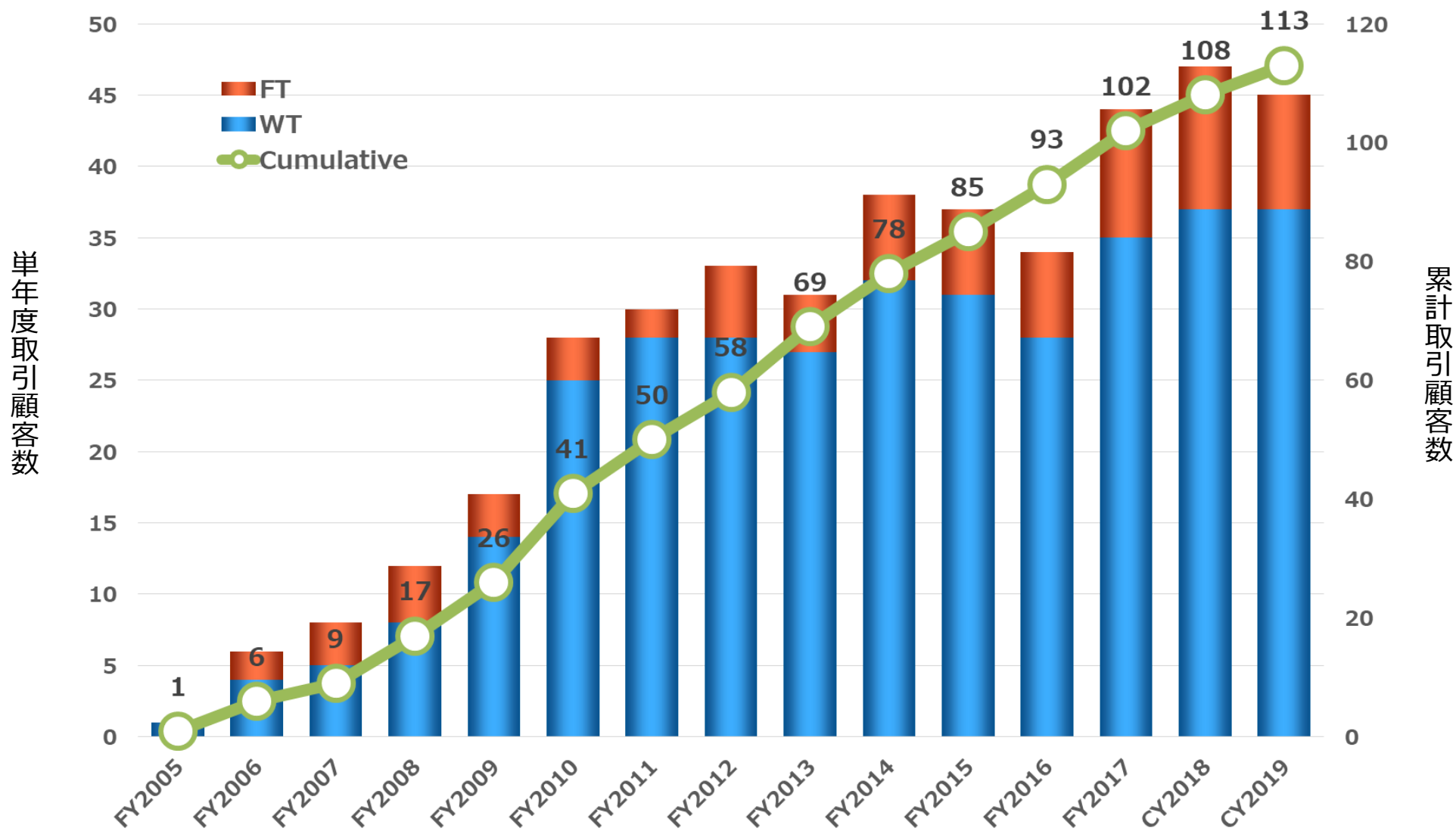
営業利益

億円



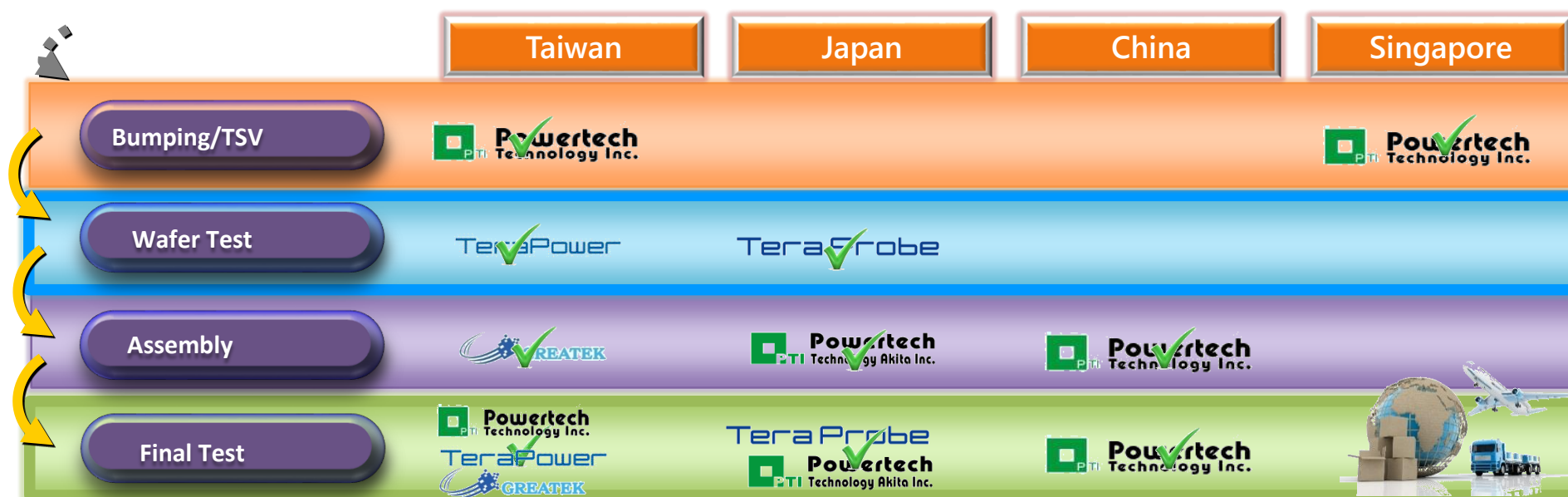
今後の当社の方向性について

顧客推移



テストサービスロードマップ^o

Memory, SoC, Sensor, Analog, AIまで幅広い半導体テストの対応



方針

① 売上拡大

- ・お客様のグローバル化サポート
- ・地の利を活かした日本-台湾サプライチェーン、ターンキー提案
- ・データベースソリューションの構築と提案

② 品質、技術レベルの更なる向上

- ・PTIグループとしてのR&D活動推進（WT/FT※）
- ・強み（量産ノウハウ、技術資産）を活かした開発活動推進

③ ミニマルオペレーションの継続

- ・必要かつ適正な投資水準の見極め
- ・技術的なコスト低減アプローチの実行

※ WT＝ウエハテスト FT＝ファイナルテスト

本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ（以下、弊社）の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料の一部には監査法人の監査やレビューの対象外の内容が含まれております。
- 本資料に記載された内容は、発表時点において一般に認識されている経済社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が開示している資料をご覧ください。投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願い致します。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ
ファイナンスディビジョン
TEL (045) 476-5711
URL <http://www.teraprobe.com/>